



命令や禁止

日ごろの会話の積み重ねが

効果を持つ

何でも言える親子の間柄が望ましいと言っても、友人並みに、とはいかないようです。親子の会話では、どうしても命令や禁止の言葉が多くがちです。
「しつけ」に目がいつてしまうからでしょう。
「手を洗いなさい」「そんなことをしてはいけません」
親にしてみれば当たり前のことと言っただけなのに、「お母さんは

口を開くと文句ばかりだ」「お父さんと話すと怒られているようで嫌だ」などと、親に何も言わなくなる子供もいます。
子供は、特に反抗期などには押し付けられるような言葉、命令や禁止の言葉を嫌うようになります。これを自主性の現れと考え、「子供のしたいようにさせる」いわゆる放任型の立場を取る人もいますが、アドバイスぐらいは与える必要が

あります。
子供が何をしているかに絶えず注意し、困ったり悩んだりしているようなら、たわいのない話から切り出すなどして、相談に乗ってやりましょう。
その際、親にしてみれば子供の悩みがどんなにささいなことかと思えても、大人にとっては深刻な問題なのです。頭ごなしに「バカだね、そんな心配しているの」などとはくれぐれもおっしゃらないように。子供が、自分の心のカラを閉ざしてしまうことにもなりかねません。
また、注意や助言を効果的にするために、言うタイミングと言

い方にも気をつけたいものです。
子供があることをしようとしているとき、半ば口癖のように「早くやいなさい」などと言うお母さんもおられるようですが、別に急がなくてよい場合などは、子供のすることをじっと見守ることも大切でしょう。
一方、同じことを告げるにもさまざまな言い方があります。感情的になつて逆効果を招かないように……。
命令や禁止の言葉が効果を持つには、日ごろからの会話の積み重ねが大切です。できる限り子供と話す機会を持ちましょう。

不用品

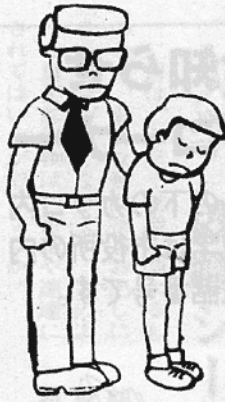
しようかい

- 一月中に、不用品登録所に次の品物が登録されました。
ご希望の方は、市観光商工課(☎54-11-11内線一六二二)にお問い合わせください。
〔ゆずりたい〕
◎保温ポット 一個 ◎洗濯機 一台 ◎剣道衣、剣道具一式(大人用)
〔ゆずってほしい〕
◎スピードスケート靴(十七cm〜十八cm)

「他人の子を叱った私」

作文から ②

昔から、子は親の鏡であるとか、嫁をとるならその親を見よとか、親は自分の子どもについて責任のあることを言われてきた。正直言って、自分の子が他人に叱られた時の親の心情は、複雑である。外聞が悪いと感じたり、自分が叱られたと同様に傷心したり、自分自身を責めたり、あげくは、



他人の子を叱る勇氣

日光中学校 P・T・A 堀田照子

腹が立つことさえる。しかし、よくよく考えてみると、注意されなければ子供はそれでよいものと思ってしまうし、親自身にとつても、気付かずに見過ごしてしまうことだってあるかも知れないのである。
叱られたり、注意されたりすることによって、子供は一つ一つ生きるすべを体得するのであるから、真険な気持ちで、真険なまなざしを向けて叱ってくれる人に対し、親は感謝をしなければならぬと思う。それは、我が子を叱る時の親の気持ちに置きかえて考えればよくわかることである。
かつて、私どもの子供時代は、周りの環

境が今よりずっと悠長だったし、子供たちは他人や身内を問わず、さまざま年齢層の人々に囲まれて、そういう人々を見習って大きくなった気がする。
ある時は、里芋の葉を道端の畑から取って歩いていたら、近所のおばさんに注意された。芋の葉を頭にかざして日がさし

なり勇氣がいるし、胃が痛むことだってある。それは、叱られた子の親の受けとめ方や姿勢にもよるし、叱る側の態度にも問題があると思う。
夏休み中、目立つ服装をして自転車を乗りまわしていた見覚えのある数人のグループを見かけたので、「どこへ行くの」と尋ねたら、目にも止めず走り去ってしまった。
後で親に話したら、朝、遊びに出て夕方になるまで家に戻らず困っているのだという。言っても聞かないのだという。
我が家にも悩みはあるけれども、子の甘え、親の過保護、環境の悪化と、これからの子供たちにとってきびしい状況が予想されるが、自分の子同様、他人の子に対して、社会人としての連帯責任を負うことは非常に必要なことであると思う。
他人の子も叱ろうという愛の一声を、惜しまずかけたいものである。